

第5章 未来

1 ガイアナイト

地球環境問題がサミットの主要な議題となったことを踏まえ、一人ひとりが、それぞれの立場で地球の未来に思いを寄せ、地球環境のことを考え行動する契機とするため、電気を消して、ローソクの灯りの中で環境問題などについて考える「ガイアナイト」を、サミット開催まで100日を切り、99日となる3月30日(日)(さん・み・とう)とサミット開催日である7月7日(月)の夜にそれぞれ実施した。

これは、平成19年(2007年)11月、東京で開催した「北海道洞爺湖サミットの夕べ」における倉本聡氏からの「本来環境を議論するサミットは、ギンギラギンのライトの下でやるよりも、ローソクの灯の下で実質的な議論をするべき。」というスピーチを受け、道民あげてこのサミットに向けた歓迎気運の醸成をはかるとともに、環境問題を考える道民運動という形にして取り組んだ。

「ガイアナイト」というネーミングは倉本氏よりいただいたもので、ガイアはギリシャ神話の大地の女神。闇が半日を覆う本来の地球を認識する夜、という意味がこめられている。

(1) 3月30日の取組

道民への周知を図るため、民間企業からの協賛をいただき、道内の学校や関係企業・団体等へのポスター、チラシの配布やローソクの無料配布を行うとともに、道民会議ポータルサイトに「ガイアナイト」サイトを作成し、メッセージ募集、キャンドルのプレゼント・キャンペーンを実施したほか、新聞全8面広告特集や大手スーパー折込チラシによる告知、札幌ドームで行われた北海道日本ハムファイターズのオープン戦でのプロモーションなど様々な企業に盛り上げに協力いただいた。



ブラジル大統領より



インド首相より



インドネシア大統領より



アルジェリア大統領より



中国国家主席より



写真左：チラシ、中：ランタン・キャンドル、右：道民会議シンボルマーク・キャンドル

また、ガイアナイトの趣旨に賛同した企業と民放放送局により高橋知事と倉本氏との対談番組が制作・放映された。

当日は、地域の民間企業・団体と北海道各支庁が連携して、ローソクパレードや星空観察会、座談会、ミニコンサート、ローソクづくりなどそれぞれの地域の人的ネットワークを活かして「ガイアナイト・イベント」を実施し、地球環境問題を主要なテーマとするサミットの成功や地球の未来に思いをはせた。

また、さっぽろテレビ塔、函館の五稜郭タワーなど主要な観光施設や大手スーパー、百貨店、スキノの広告ネオンの一部など、道内の約400施設において夜間照明が消灯された。

【各取組に対する参加表明件数】

個人参加表明件数	約10,600件
企業・団体参加表明件数	約300件
照明施設の消灯	約400施設
ガイアナイト・イベント開催	約70件



写真左：ガイアナイトインとかち、右：ガイアナイトのタペ in ぶらの市やまべ

(2) 7月7日の取組

サミット開催初日の7月7日の夜の実施にあたっては、前回と同様、道民会議ポータルサイトにて参加を呼びかけたほか、6月22日(日)、東

京において、首都圏を含む全国にこの取組をPRし、ガイアナイトへの参加を促進するため、「ガイアナイト・イベント in Tokyo」を実施した。

日時	6月22日(日) 16:00-18:00
場所	パナソニックセンター東京
参加人数	約300名

当日は、1,000名を超える応募の中から選ばれたおよそ300名の方にご参加いただき、ガイアナイトの取組について説明する「ガイアナイト講座」のほか、北海道旭川市出身で、国内や海外の交響楽団と共演されている安田里沙さんのピアノコンサートや今や全国区で活躍する演劇ユニット「TEAM NACS」のメンバー森崎博之氏と音尾琢真氏によるトークショーを行い、ガイアナイトの趣旨について音楽やトークを通じて理解を深めた。

また、町村内閣官房長官が来賓として来場し、挨拶いただいたほか、主催者として出席した高橋知事とともに、当日のトークショーにサプライズゲストとしてご参加いただき、北海道の魅力やガイアナイトについて自らの想いを語っていただいた。



ガイアナイト・イベント in Tokyoの様子

さらに民間企業の協賛により、道内の学校や関係企業・団体等へポスターを配付したほか、全国約2万3千の小学校及び特別支援学校に対し本取組への参加を呼びかけるチラシを送付した。

また、ポータルサイトに参加表明していただいた方の中から抽選で道民会議シンボルマークキャンドルをプレゼントした。



ガイアナイトチラシ

当日は、各家庭におけるガイアナイトの実施や飲食店等におけるキャンドルディナー、札幌時計台やさっぽろテレビ塔等照明施設の消灯が行われたほか、道内各地で北海道各支庁による地域の特色を活かした取組が行われた。

【各取組に対する参加表明件数】

個人参加表明件数	約58,600件
企業・団体参加表明件数	約350件
照明施設の消灯	約180施設
キャンドルディナー実施店舗	約150施設



写真左：釧路でのガイアナイト、右：赤レンガ庁舎の消灯

また、全国の小学生に対し、未来へのメッセージをこめた思い思いのキャンドルアートを募集した。これは、地球の未来を担う小学生に、今回のサミットの主要テーマの一つである地球環境問題について考えるきっかけとしてもらうことを目的に実施したものの。全国より85作品の応募があり、審査の結果、道民会議会長賞1作品、特別賞2作品が選ばれ、7月30日(水)、記念品の贈呈式が行われた。

【キャンドルアート審査結果】

・道民会議会長賞

タイトル
「花火(平和な空に
願いをこめて)」
制作者：
宝珠山理歩さん
(埼玉県)



・道民会議特別賞

タイトル
「LOVE & PEACE」
制作者：
チーム真狩
(8名、真狩村)



タイトル
「月夜節電」
制作者：
滝田かのこさん
(岡山県)



【ガイアナイトに協賛いただいた企業・団体等】

【3月30日】

- ・ガイアナイトポスター、チラシへの協賛
(株)ヴァーナル北海道
- ・広報・宣伝活動への協力
(株)ヴァーナル北海道、サッポロビール(株)、イオン北海道(株)、(株)北洋銀行、(株)札幌東急ストア
- ・ローソクの協賛
(株)ツルハ、カメヤマ(株)、手づくりキャンドル クレール

【7月7日】

- ・ガイアナイトポスター、チラシへの協賛
石屋製菓(株)、(株)ヴァーナル北海道、KDDI(株)、小山(株)、東レ(株)、(株)日本航空、(株)ネクステップ、(株)ピーアールセンター
- ・チラシ配送への協賛
郵便事業(株)
- ・ガイアナイト・イベント in Tokyoへの協賛
パナソニックセンター東京(会場提供)、石屋製菓(株)(再掲)・(株)きのとや・(株)壺屋総本店・(株)ホリ・日本ミルクコミュニティ(株)・(株)ロイズコンフェクト・(株)わかさいも本舗(以上スイーツ・飲料提供)

2 ワンガリ・マータイ氏の来道

第4回アフリカ開発会議に招待され来日していたノーベル平和賞受賞者、前ケニア環境副大臣のワンガリ・マータイ氏が平成20年6月3日(火)に来道され、知事公館において高橋知事と対談を行った。

対談は、道民会議と北海道テレビ放送(株)が共同で実施したもので、北海道環境宣言で提唱する「地球を守る心」、「もったいない心」、「自然と共生する心」の3つの心を中心に、「環境との調和」をテーマとして、J8サミット・コンテストの最終選考に残った道内の高校生8名(市立函館高校、函館白百合学園高校、立命館慶祥高校)も参加して実施された。

まず、高校生2チームから環境問題について英語でスピーチを行い、意見交換を行った後、知事とマータイ氏の対談が行われた。

知事からは、オホーツク海の流氷が減少していることなどを例に、道内でも温暖化が顕在化していることや、環境宣言を行って、道民一人ひとりが「地球を守る心・もったいない心」を持って、環境にやさしい行動に努め、限りある資源を大切に、省資源・省エネルギーなどに取り組もうとしていることなどについて話し、意見を交わした。

対談の様子は、6月19日(木)から札幌ドームで開催した環境総合展2008で上映し、サミット開催直前の7月5日(土)にはテレビ放送されるなど、サミットに向けた歓迎機運の醸成や道民の環境意識の一層の向上を図る取組に活用した。



ワンガリ・マータイ氏との記念撮影

3 J8サミット参加者と道内高校生等との交流

(1) 「環境と未来を語るつどい」の概要

J8サミットに参加する世界の子どもたちと北海道の子どもたちとの絆を育むため、J8サミット参加者と道内中高生が北海道の自然、歴史、文化の体験や環境問題に関する意見交換を通じて交流する「環境と未来を語るつどい」を開催した。

【開催概要】

開催日	平成20年7月8日(火)	
場所	札幌市(北海道開拓の村、モエレ沼公園)	
主催	道民会議	
共催	北海道、北海道教育委員会、札幌市	
参加者	J8サミット参加者	39名
	J8コンテスト第1次選考通過者(北海道内)	24名
	専門高校生環境サミット参加者	21名
	北海道高校生環境サミット参加者	18名
	こども環境サミット札幌参加者	10名
	千歳市中高生代表	27名
	イオンチアーズクラブ	30名
		合計169名
特別ゲスト	柳淳沢(ユ・ステク)国連事務総長夫人 アグネス・チャン日本ユニセフ協会大使	

【プログラム】

時間	場所	内容
10:00	北海道開拓の村	○開会 北海道教育委員会 吉田教育長歓迎挨拶
		○施設見学 【テーマ】先人の知恵を探せ!
11:30		バスにより移動
12:10	モエレ沼公園	○昼食
		○「専門高校生環境サミット」の 展示見学
		○札幌副市長歓迎挨拶、 PMF修了生の演奏
		○意見交換 ・J8から「千歳宣言」の発表
		【テーマ】 開拓者達の生活から学んだもの
		○休憩 ・千歳高校学校生活紹介ビデオ放映 ・PMF修了生の演奏
16:30		・「高校生サミット宣言」と取組発表
		【テーマ】 自分たちの身の回りでの取組 ・「子ども環境サミット 札幌宣言」の発表
		【テーマ】 世界や各国に呼びかけたいこと
		○まとめ ○YOSAKOIソーラン(鑑賞&体験)
16:30		○閉会

(2)プログラムの内容

ア 北海道開拓の村での交流

開会にあたり、吉田北海道教育委員会教育長からの歓迎挨拶の後、参加者は12グループに別れ、自己紹介ののち、J8コンテスト第1次選考通過者(北海道内6チーム)の英語案内により、明治・大正期の北海道の開拓当時の建物や暮らしが展示されている野外博物館・北海道開拓の村において、自然や環境を活用した先人の知恵を探しながら交流を深めた。

参加者は、携帯電話のカメラ機能を使って、環境の知恵や工夫を写真に撮り、メール送信により、モエレ沼公園で行われた意見交換に使用された。



開拓の村内の施設について英語案内する道内高校生



竹馬など日本の伝統的な遊びを体験

イ モエレ沼公園での交流

【「専門高校生環境サミット」の展示見学】

北海道内の5つの専門学校(函館水産高校、岩見沢農業高校、帯広農業高校、札幌工業高校、苫小牧工業高校)から、環境をテーマにした日頃の研究成果の展示発表が行われ、雪冷風ベンチの体験やピザ・チーズ等を試食するなど交流が行われた。



専門高校生環境サミットの展示物を見学するJ8参加者



【意見交換】

意見交換に先立ち開催地を代表して加藤札幌副市長から歓迎の挨拶が述べられ、続いて、

PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)修了生による演奏が行われた。

ジャーナリスト池上彰氏とNPO法人当別エコロジカルコミュニティ代表理事山本幹彦氏のコーディネートにより、環境に関する3つのテーマ「開拓者達の生活から学んだもの」、「自分たちの身の回りでの取組」、「世界や全国に呼びかけたいこと」について、北海道開拓の村で撮影した写真やJ8参加者からの「千歳宣言」、北海道高校生環境サミット参加者からの「高校生サミット宣言」、こども環境サミット札幌参加者からの「こども環境サミット札幌宣言書」の発表などを題材に議論が行われた。

また、各テーマの合間には北海道札幌平岸高校が制作した「環境メッセージ」動画が放映された。



「千歳宣言」を説明するJ8サミット参加者

休憩時間には千歳高校の学校生活紹介ビデオが上映されたほか、光塩学園調理製菓専門学校から北海道の食材を使用したお菓子が提供された。



「高校生サミット宣言」の発表



「こども環境サミット札幌宣言書」の発表

【特別ゲストからのメッセージ】

当日会場に視察に訪れた柳淳沢(ユ・スンテク)国際連合事務総長夫人とアグネス・チャン日本ユニセフ協会大使からそれぞれ子どもたち

へのメッセージをいただいた。アグネス大使からは、メッセージに続き、歌「ピースフルワールド」が披露され、参加者全員が合唱した。



潘基文国際連合事務総長夫人
柳淳沢さん

日本ユニセフ協会大使
アグネス・チャンさん

【YOSAKOI ソーラン(鑑賞&体験)】

北海道・札幌の初夏を彩る風物詩として定着している YOSAKOI ソーラン祭りの演舞を北海道大学の大学生が中心となったチーム「北海道大学“縁”」が J8 サミット参加者に披露した。“縁”の迫力のある演技を鑑賞した後、参加者は法被を着て鳴子を手に、踊り子達の演舞指導のもと、YOSAKOI ソーランを体験した。



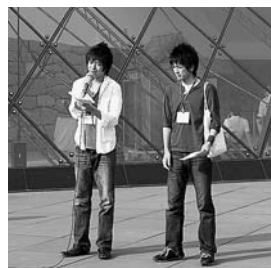
参加者が YOSAKOI ソーランを体験

【閉会】

J8 参加者、北海道内の参加者が、グループ毎に自分の氏名、住所を記入した木の絵はがきを交換し合い、最後に千歳市参加者の代表から、「地球温暖化を含めた環境問題について、一人ひとりが真剣に考え、責任を持って取り組み、多くの人たちにこの問題の重要性を伝えていきたい。」とのメッセージが英語で述べられ、再会を誓い合った。



木の絵はがき交換



閉会メッセージ

(3)環境への配慮

「つどい」を開催するにあたり、北海道内の参加者に環境配慮の具体的な取組のアイデアを募集し、寄せられたご意見を踏まえ「つどいにおける環境配慮について」を作成し、全ての参加者及び運営関係者に環境配慮について周知した。

当日は水筒持参、マイ箸の使用、うちわ持参などへの協力が見られた。また、主催側は、簡易な装飾、FSC 森林認証材イーゼル・割りばしの使用、雪冷房施設の使用、両面印刷資料、再生紙及び植物性大豆インク印刷物、カラマツ間伐材経木の折詰弁当容器使用、道産食材活用、サステイナブルコーヒー、ゴミの分別などの環境配慮行動に取り組んだ。

【参加した学校・団体】

- ・ J8 コンテスト1次選考通過者（北海道内）
市立函館高、函館白百合高、立命館慶祥高、札幌南高、室蘭栄高、帯広柏葉高
- ・ 専門高校生環境サミット
函館水産高、岩見沢農業高、帯広農業高、小樽水産高、札幌工業高、苫小牧工業高
- ・ 北海道高校生環境サミット
遺愛学院遺愛女子高、岩見沢農業高、上川高、札幌藻岩高、標茶高、斜里高、洞爺高、
- ・ こども環境サミット
札幌あいの里東中、札幌日章中、札幌日本大学中、札幌藤女子中、道教育大学附属札幌中、札幌北辰中、立命館慶祥中、札幌伏見中、札幌平岸中、札幌藻岩中
- ・ 北海道千歳市中高生代表
千歳中、千歳青葉中、東千歳中、千歳駒里中、千歳富丘中、千歳北斗中、千歳向陽台中、千歳高、千歳北陽高
- ・ イオン1%クラブ

【「環境と未来を語るつどい」開催にご協力いただいた企業・団体等】

(株)NTTドコモ、光塩学園調理製菓専門学校、国際デジタル絵本学会、ゼブラ(株)、空知単板工業(株)、(株)太陽グループ、(株)山忠、YOSAKOIソーラン祭り組織委員会、北海道札幌平岸高等学校、北海道洞爺湖サミットおもてなし委員会

4 各国首脳等と道民との交流

～「未来への夢、世界との絆」プロジェクト～

(1) 道民会議の取組

G8 首脳等による市町村訪問、そして地域住民との交流を通じた、地域の国際化や北海道に関する情報発信を目的として「未来への夢、世界との絆」プロジェクトを実施した。

実施に当たっては、各地に潜在する各国との絆を新たな交流につなげたり、既存の交流を拡大する契機とするため、道内の全市町村に交流プログラム案を募集した。

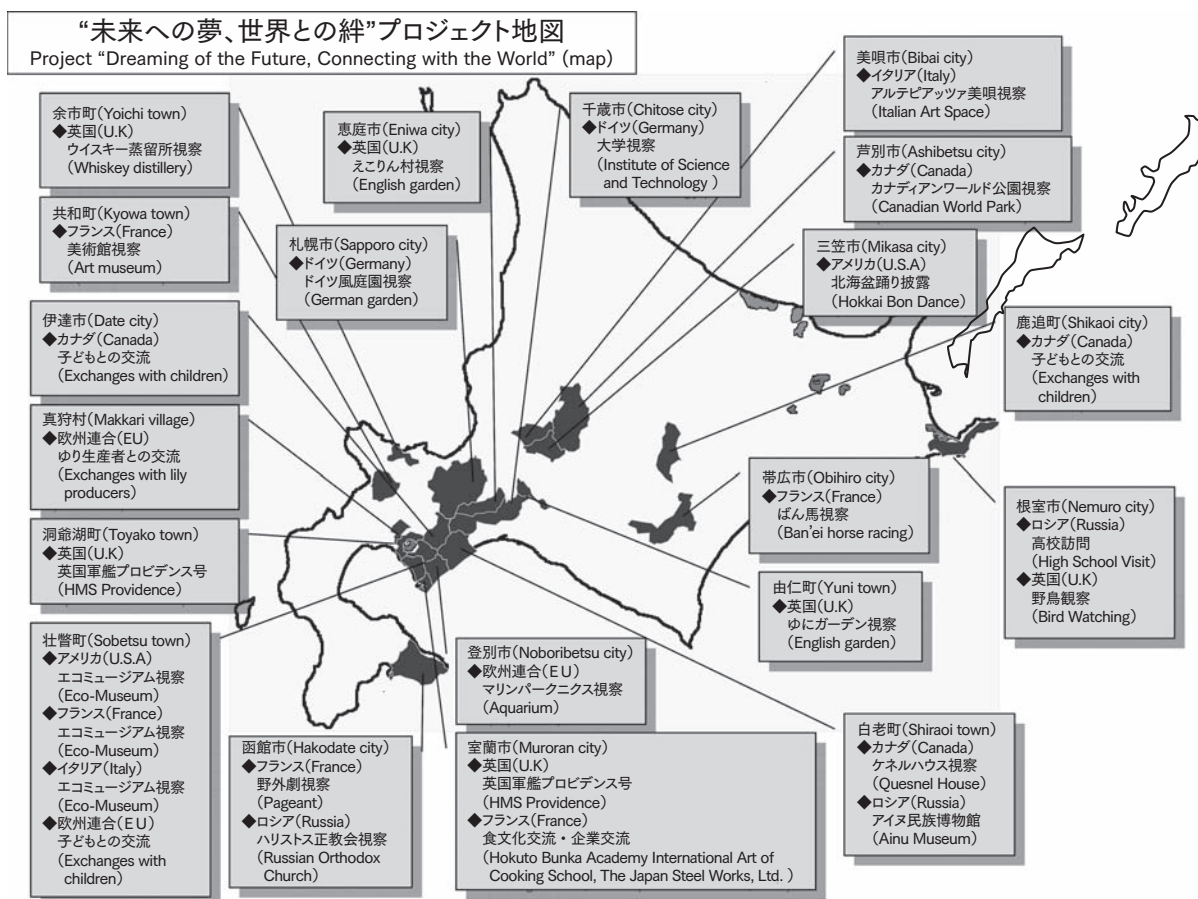
これにより、G8 各国との間でこれまで培われてきた歴史、文化、教育、産業などの様々な「絆」を生かし、地域における記念事業の実施や芸能文化の上演など、20 市町村から合計 27 件の交流プログラム案の提案があった。

提案のとりまとめ後は、高橋知事による各国大使に対する要請をはじめとして、様々な機会を活

用して各国関係者に要請するとともに、姉妹都市交流等のつながりを踏まえ、提案市町村による各国大使館の訪問や大使館員の市町村訪問も実施された。また、G8 各国の先遣隊来道の際に開催した歓迎夕食会では、提案市町村関係者と各国との交流のほか、各市町村の自慢の食材紹介をはじめとする提案市町村に関する幅広い情報が提供された。

サミットが 22 カ国と 7 国際機関が参加する過去最大規模のものとなり、各国首脳は多くの会合・会談を行う多忙なスケジュールとなったほか、近年のサミットにおける厳しい警備環境のもと、実現に向けては多くの課題があったが、こうした取組の結果、カナダのスティーブン・ハーパー首相夫妻の伊達市訪問が実現した。

また、駐日フランス大使、駐日英国大使、駐日ドイツ大使が道内市町村を訪問し、道民と交流した他、空港歓迎行事には、交流事業を提案した市



町村の児童が参加したり、道民会議会長から G8 各国首脳に対する贈呈品にも提案市町村のウェルカムメッセージを掲載するなど、幅広い形で G8 各国との交流が図られた。

なお、道民会議は、交流事業の実現に当たり、全体行程や事業内容に係る連絡、調整を行うとともに、実施当日は、関係支庁とも連携し、行事の進捗状況の把握と連絡調整を行った。

(2)カナダ

スティーブン・ハーパー首相夫妻がカナダ・レイクカウチン町と姉妹提携 20 周年を迎える伊達市を訪問し、交流が行われた。首相夫妻は、高橋知事、伊達市長夫妻、約 350 名の地元の幼稚園児の手旗や青少年による和太鼓演奏等による盛大な出迎えをうけ、伊達市とレイクカウチン町の学生による「子ども環境サミット」に参加した。

なお、ハーパー首相夫妻の訪問を記念して、子ども環境サミットの会場が「ハーパー・ホール」と命名された。

【伊達市】

日時	平成20年7月7日(月)10:00-10:50
場所	伊達市だて歴史の杜カルチャーセンター
概要	歓迎セレモニー、文化財展示視察、子ども環境サミット視察・交流
主な参加者	カナダ首相夫妻、環境大臣、国際協力大臣、駐日カナダ大使ほかカナダ政府関係者、北海道知事、伊達市長夫妻、レイクカウチン町長夫妻、伊達市立大滝中学校生、レイクカウチン町学生、伊達市内幼稚園児



子ども環境サミット参加者の記念撮影



首相夫妻との記念撮影

(3)フランス

フランスで活躍した西村画伯の作品を展示した共和町の美術館のほか、室蘭市及び壮瞥町をフィリップ・フォール駐日フランス大使が訪問した。

【共和町】

日時	平成20年7月8日(火)10:00-11:00
場所	西村計雄記念美術館
概要	歓迎セレモニー、記念植樹、美術館内視察、チーズパーティー
主な参加者	駐日フランス大使夫妻、共和町長、共和町議会議員、西村画伯親族ほか、共和町内小中学生、幼稚園児、共和町民



町関係者との記念撮影

【室蘭市】

日 時	平成20年7月8日(火)13:10-15:10
場 所	日本製鋼所室蘭製作所(迎賓館「瑞泉閣」等)及び北斗文化学園インターナショナル調理技術専門学校
概 要	歓迎セレモニー、市・日鋼関係者との会食懇談、日本製鋼所(鍛刀所、製鋼設備)視察、学園関係者との試食懇談
主 な 参加者	駐日フランス大使夫妻、室蘭市長、室蘭市議会議員、日本製鋼所室蘭製作所所長、北斗文化学園理事長ほか



北斗文化学園視察

【壮瞥町】

日 時	平成20年7月8日(火)16:00-17:00
場 所	そうべつ情報館i(アイ) 昭和新山 三松正夫記念館
概 要	歓迎セレモニー、エコミュージアム交流会、昭和新山視察
主 な 参加者	駐日フランス大使夫妻、壮瞥町長、壮瞥町議会議員、北大名誉教授、観光果樹園代表、エコミュージアム友の会会長、壮瞥町内中学生ほか



地元の中学生等による歓迎

(4)ドイツ

ドイツ人教授が在籍する千歳市の千歳科学技術大学をハンス＝ヨアヒム・デア駐日ドイツ大使が訪問し、大学関係者や学生、企業家との交流が行われた。

【千歳市】

日 時	平成20年7月10日(木)9:00-10:15
場 所	千歳科学技術大学
概 要	記念植樹、大学の研究概要説明、レーザー実証試験装置視察
主 な 参加者	駐日ドイツ大使、千歳市副市長、千歳科学技術大学学長・教授・大学院生、ベンチャー企業関係者(東京工業大学教授等)ほか



記念植樹後の記念撮影

(5)英国

200年以上前に英国船プロビデンス号が来訪した室蘭市及び洞爺湖町をグレアム・フライ駐日英国大使が訪問し、市民との交流が行われた。

【室蘭市】

日 時	平成20年7月8日(火)11:20-12:15
場 所	日本製鋼所室蘭製作所(迎賓館「瑞泉閣」等)及び絵鞆臨海公園
概 要	歓迎セレモニー、日本製鋼所(鍛刀所、工場群)視察、プロビデンス来航記念碑視察
主 な 参加者	駐日英国大使、室蘭市長、室蘭市議会議員、日本製鋼所室蘭製作所所長、ルネッサンス理事長・副理事長、プロビデンス来航記念200年祭実行委員、室蘭市内保育園児・小学生



地元の小学生等による歓迎



日本製鋼所視察

【洞爺湖町】

日 時	平成20年7月8日(火) 13:10 - 14:25
場 所	洞爺総合センター
概 要	洞爺湖町に在住する英国ボランティア青年と町民との交流会(昼食懇談、午後の紅茶)参加
主 な 参加者	駐日英国大使、洞爺湖町長、英国ボランティア青年(2名)、洞爺国際交流協会会員、洞爺湖町サミット推進町民会議、郷土研究会、洞爺高校生ほか



地元高校生との記念撮影

5 G8 以外の国々等の首脳と道民との交流

(1) 潘基文国連事務総長の講演

潘基文国連事務総長は、北海道大学を訪問し、「世界的食糧問題を考える－国連事務総長と学生との対話集会－」と題した特別講演を行い、現在の国際社会における食糧問題について語るとともに、同大学の学生と熱心な意見交換を行った。

【概要】

日 時	平成20年7月8日(火)
会 場	北海道大学
出席者	国連事務総長、北海道大学学長、同学学生 215名



(2) 首脳夫人と道民との交流

道民会議では、札幌市に滞在した各国首脳や首脳夫人と道民との交流が実現し、各国と北海道との一層の関係強化が図られるよう、様々な機会を活用して、各国に対する交流の要請や情報提供を行った。

この結果、ナイジェリア大統領夫人及び国連事務総長夫人が札幌市、インド首相夫人が札幌市、小樽市、中富良野町及び富良野市、インドネシア大統領夫人が白老町、恵庭市及び札幌市、メキシコ大統領夫人が札幌市及び小樽市を訪問し、関連施設の視察及び関係者との交流を行った。

なお、夫人の各地訪問に際する通訳には、(財)日本国際協力センターの協力をいただいた。



道立子ども総合医療・療育センターにおいて、子ども達に話しかける国連事務総長夫人（右）



ナイジェリア大統領夫人による北海道赤十字血液センター視察



インドネシア大統領夫人によるポロコタン（白老町）視察

6 記念植樹

サミットを記念するとともに、地球環境保全の取組を北海道から発信するため、高橋知事の案内により、G8 首脳及び夫人が記念植樹を行った。

植栽木については、地球環境が主要テーマとなるサミットにおいて、地球温暖化防止に向けた決意を世界へ発信するシンボルツリーとしてふさわしい、道立試験機関が開発した二酸化炭素固定能力が高いマツ「クリーンラーチ」（詳細は P90 参照）を選定した。

(1) G8 首脳記念植樹

ザ・ウィンザーホテル洞爺のサミットテラスにおいて、知事が植樹木の説明を英語で行った後、G8 各国首脳とともに記念植樹を行った。

日 時	平成20年7月8日(火)12:05-12:10
樹 種	クリーンラーチ3本



(2) 配偶者記念植樹

洞爺湖町の有珠山噴火記念公園において、道及び道民会議の主催により、G8 首脳夫人の記念植樹を行った。記念植樹では、中学生の吹奏楽部の演奏により G8 首脳夫人の出迎えを行うとともに、高橋知事の挨拶の後、植樹に先立ち、J8 コンテストの最終選考会に出場した北海道在住チームにより、環境メッセージが英語で発信された。続く、福田総理大臣夫人による来賓挨拶の後、小学生のサポートにより、植樹が行われた。

日時	平成20年7月9日(水) 11:30-11:50
樹種	クリーンラーチ10本(来道しなかった国の夫人については、地元又は絆プロジェクトに応募した市町村の児童が植樹した)
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・日本、カナダ、ロシア、英国、アメリカの首脳夫人 ・J8コンテスト最終選考会出場北海道在住チーム(市立函館高等学校、函館白百合学園高等学校、立命館慶祥高等学校) ・地元(伊達市長、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町)の首長夫妻及び児童128名 ・伊達市伊達中学校吹奏学部 ・高橋知事



(3)定植

G8首脳及び夫人により植樹されたクリーンラーチは、サミットを記念するとともに、北海道環境宣言や森林づくり運動など地球環境問題の解決に向けた道民運動の象徴として位置づけ、後世にわたり道民の財産として大切に育てていくこととした。

このため、サミットの運営や植樹事業に深く関わった市町村など、幅広く道内の市町村に定植することとした。

【定植先一覧】

G8首脳記念植樹(3本)

サミット主要施設所在市町村

- ・札幌市(道庁前庭)
- ・留寿都村(ルスツふるさと公園)
- ・洞爺湖町(ザ・ウィンザーホテル洞爺)

配偶者との記念植樹(10本)

サミットの運営や植樹事業の実施に深く関わった市町村

- ・千歳市(千歳市民文化センター)
- ・ニセコ町(近藤小学校)
- ・真狩村(まっかり温泉)
- ・美唄市(東明公園隣接地)
- ・登別市(亀田記念公園)
- ・伊達市(自然ふれあい交流施設)
- ・豊浦町(豊浦町役場)
- ・壮瞥町(久保内小学校)
- ・洞爺湖町(有珠山噴火記念公園)
- ・帯広市(森の里小学校)

7 北海道洞爺湖サミット展

サミットは、北海道にとって最大の国際会議であり、その開催は、今後の国際観光の振興や安全・安心な道産食材のブランド化、国際的な人材育成など将来の本道の地域づくりに大きな影響を及ぼすことが期待される。このため、サミットの全容や意義を道民に幅広く知っていただくとともに、その成果を生かした各地域における自主的な取組(ポストサミットに向けた取組)を喚起するために「北海道洞爺湖サミット展」を全道各地で開催することとした。

(1)概 要

実施主体
道民会議、北海道
開催期間・場所
オープニング展 平成20年10月4日(土)及び5日(日) 道庁赤れんが庁舎会議室及び前庭 来場者数:約1万5千名
支庁巡回展 平成20年10月-(全14支庁)

(2)オープニング展概要

【サミット・レストラン】

- ・出展者：首脳及び首脳夫人の料理の一部を担当したシェフ(ラパンフーズグループ)
- ・メニュー等：首脳、首脳夫人、プレス関係者に提供されたメニューや素材を活用した軽食(パエリア、コーンスープ、ラクレット、北海道チーズとパン)

【北のまるしえ再現】

- ・出展者：全22業者(真狩村で開催した「北のまるしえ」のコンセプトに賛同した道内生産者等)
- ・その他：「食の情報発信コーナー」を設置して

「サミットにおける道産食材活用リスト」等を展示



オープニング展のテープカット

【警察・消防体験】

- ・協 力：北海道警察本部、札幌市消防局
- ・内 容：白バイ、機動隊指揮車、機動隊装備品、消防車、子供防火衣等の展示、着用体験

【北海道各部展示】

- ・出 展：北海道庁の関係部(環境生活部、経済部、水産林務部)及び事業者
- ・内 容：3Rの推進等のパネル展示、クリーンディーゼル車体験、ペレットストーブ展示等

【屋内展示】

- ・内 容：パネル展示、ウェルカムギフト展示、首脳からの贈呈品展示、議長記者会見場再現、アイヌ衣装試着、七夕行事再現

【サミット記念講演会】

- ・講 師：梨田外務省国際協力局政策課長
- ・テーマ：北海道洞爺湖サミットの意義と国際会議誘致へ向けた北海道への提言

【スペシャル・サミット・トーク】

- ・パネラー：ザ・ウィンザーホテル洞爺
中村総料理長
齋藤顧問
中道顧問
武田外務省情報公開室課長補佐

- ・コーディネーター：林 美香子 氏
- ・テーマ：サミットにおける道産食材の活躍と今後の展開について



スペシャル・サミット・トーク



サミット記念講演会



日高支庁における企画事業

(3)支庁巡回展

サミット開催結果の全容や意義、可能性を広く道民に理解していただくための各種展示とともに、サミットの開催結果を活かした支庁企画事業を14支庁で実施した(一部予定)。

支庁名	期間	場所	内容
日 高	H20.10.14－10.16	日高合同庁舎	パネル・ギフト等展示、キャンドルホルダーづくり、絵本の読み聞かせ、サミット食材によるキャンドルサパー等
空 知	H20.10.21－10.22	岩見沢市文化センター ホテル・サンプラザ	パネル・ギフト等展示、道産米PR、新米試食会、空知特産品紹介等
胆 振	H20.10.31－11.2	苫小牧市科学センター 苫小牧駅前プラザegao	パネル・ギフト等展示、東胆振の特産物の展示即売 等
後 志	H20.11.5－11.8	後志合同庁舎 ヒルトン・ニセコ・ビレッジ	パネル・ギフト等展示、地元食材を活用した料理の提供、料理講習会、シンポジウム 等
根 室	H20.11.10	根室市商工会館	パネル・ギフト等展示、ラムサール条約登録3周年記念フォーラム 等
十 勝	H20.11.9 H20.11.13－11.14	十勝合同庁舎 とかちプラザ	パネル・ギフト等展示、エコフード収穫祭、マスコットキャラクター愛称発表、親子エコ体験広場 等
留 萌	H20.11.16	留萌合同庁舎	パネル・ギフト等展示、ガイアナイトコンサート、環境絵本贈呈、留萌まんま市場、フリーマーケット 等
釧 路	H20.11.15 H21.1.10－1.11	釧路市生涯学習センター 釧路市観光国際交流センター	パネル・ギフト等展示、パネルディスカッション 等
渡 島	H20.11.18－11.19	大沼国際交流プラザ 大沼国際セミナーハウス	パネル・ギフト等展示、基調講演、パネルディスカッション 等
檜 山	H20.11.21－11.26	檜山合同庁舎	パネル・ギフト等展示、基調講演、事例発表 等
石 狩	H20.11.29	千歳アウトレットモール レラ	パネル・ギフト等展示、環境イベント 等
上 川 (予定)	H20.12.11－12.12	上川合同庁舎	
宗 谷 (予定)	H21.2中旬	北防波堤ドーム市立図書館	
網 走 (予定)	H21.2中旬	エコセンター	